

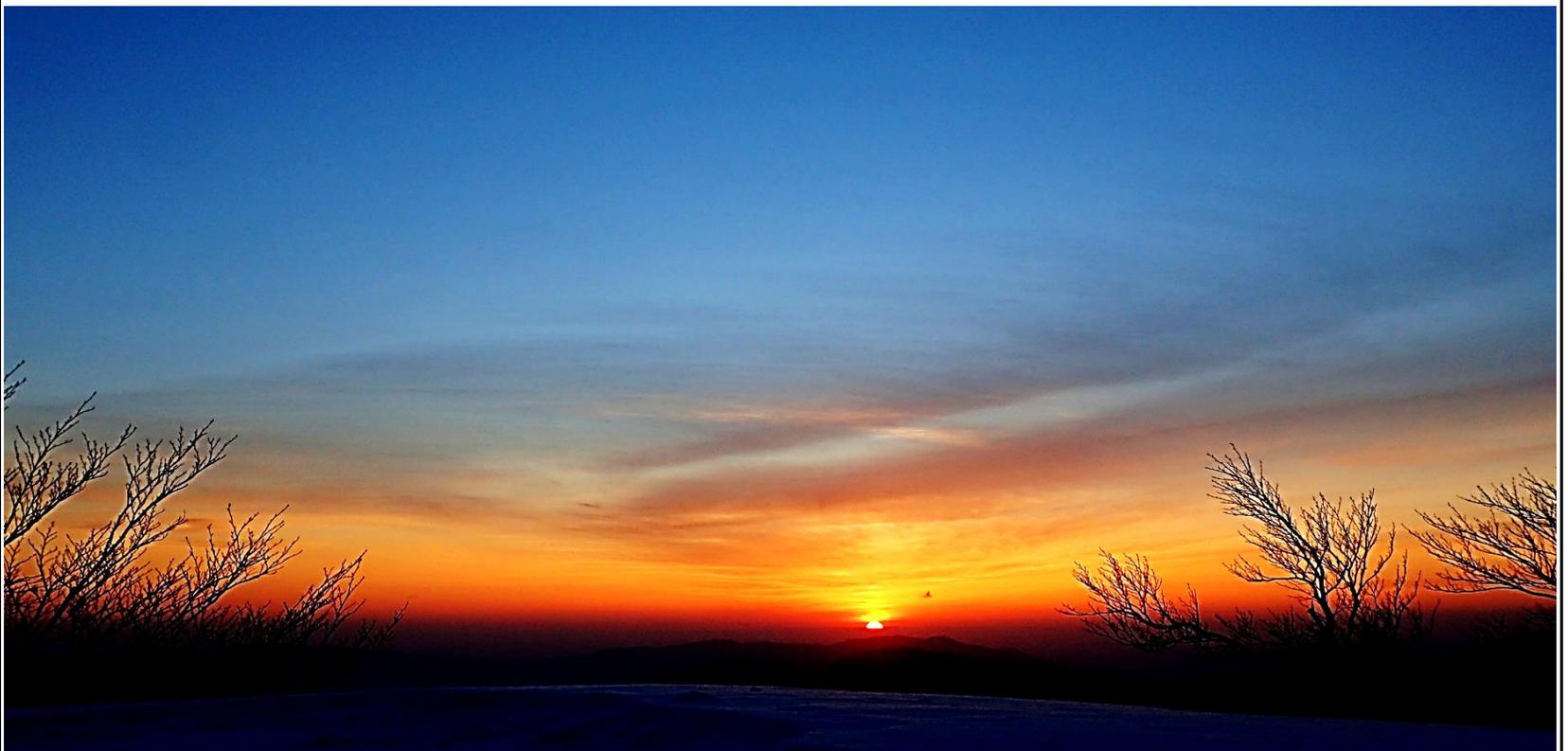


ご挨拶

晴れた日は暖かな日差しが降り注ぐようになりました。それと共に杉や檜の花粉も舞い上がり、さらに中国から黄砂も飛んで来て、それだけでなくコロナの影響でマスクが手放せません。ぼちぼちサクラの開花の便りも聞かれる今日この頃です。三月は年度末ということで、一つの区切りをつけるために何かと忙しい月でした。町内の学校も卒業式が挙行され、別れの季節でもあります。でも、来月からは新年度です。新たな希望を胸に抱き、新生活へむけて羽ばたいてください。

【ジオパーク最高峰！扇ノ山（1310m）山頂で見る日の出】

岸田川の源流にある扇ノ山（標高1,310m）は、山陰海岸ジオパークエリアで最高峰になります。兵庫と鳥取の県境にありその山頂からは鳥取の市街地が望めます。真冬の山頂から沈む夕日と昇る朝日が見たくて、2月の月末に登ってきました。避難小屋に一泊、日没後は氷点下でとても寒かったけど外は満月で明るく、次の日は午前6時半に待望の朝日が望めました。



東の空に顔を出した直後のご来光を扇ノ山の山頂より望む。

【野草が無い！？「春の食べれる野草さがし」開催】

春分の日には午前中いい天気になりました。3月の公民館行事「里山の食べれる野草さがし」が開催され、10名（大人4、子ども6）の参加がありました。雪解けが遅いのと、シカの食害で野草がほとんど無く、ちょっと心配しましたが、みんなで頑張って探し、ヨモギやスイバ、ツクシ、タンポポ、ユキノシタなど14種類も食べれる野草が採取できました。それを持ち帰って、洗ってゴミ掃除をしてからてんぷらにしました。ヨモギやアサツキが美味しく、ミントはケーキ風味でけっこういけました。

屋前に曇ってきたので、早めに閉会としました。シカによって山菜が無くなり、ちょっと困ったことが起きています。「もし食べれる野草が無かったらどうする」って聞いたら、「それならシカを食ったらええ」って・・・さすが久斗山の子供らは逞しいな～ 暖かくなってニホンカナヘビも見れました。



シウジョウバカマの花

山桜やシウジョウバカマなども咲いていました。日に日に暖かくなって、もうじき山の芽吹きも始まり、新緑の季節です。春を楽しみましょう。



